

## 2020 年度活動報告書

一般社団法人 OHANA

本年度（2020 年度）は新型コロナウイルス感染症対策として「新しい生活様式」に合わせた活動の実施（オンライン導入による非対面によるピアカウンセリング、専門家による認知行動療法等の「トラウマ回復」の併用）となった。また、感染症対策の影響により、就労支援、就労体験等の地域社会との繋がりや機会（地域でのイベント出店参加等）が激減したが、事業を縮小して実施する事ができた。

しかしながら、こうした状況の中で、支援からこぼれ落ちている被害当事者が大勢いて、現在の支援の問題点や課題が浮き彫りとなった事で、被害者でありながら、なかなか声をあげられない当事者の潜在化に注目が向けられるようになった事、また、潜在的被害当事者の同行支援を実施していく中で、医療機関でも当事者の思いに寄り添ってくれる機関を切り開く事ができた事は大きな収穫であったし、中長期支援の活動を支える裾野を広げる事ができた。

また、法政大学現代福祉学部の学生とコラボ企画を開催する事で、横の繋がりを強化しながら、多方面からの支援の必要性を知る事ができた。

こうした活動結果を踏まえ、「潜在化の原因と背景」「枠を超えた支援」について更に探求し、明文化する事で、広く社会に周知できるよう来年度に繋げて行きたい。

### 【実施事業】

1 ハンドメイド（ものづくり）を通してサバイバーが安心して過ごせる居場所づくり事業

① 毎月ハンドメイドピアサポート、電話、来所によるピアカウンセリングを Zoom やグループミーティング、LINE 等のオンラインツールを使って実施。

電話相談：のべ 22 名

オンライン相談：のべ 18 名

来所相談：のべ 7 名

\* 来所相談は感染症対策（飛沫防止のための付いたての使用、マスク着用、アルコール消毒、部屋の換気、人数制限など）を徹底し実施。

② 法政大学とのコラボ企画

・外部講師を招いての被害当事者ケア勉強会、

「第三回 性暴力被害当事者ケア勉強会」

テーマ：立ち上がる選択～性暴力被害者当事者の権利と尊厳を守るために～

日時：2020年10月27日（土）

講師：大藪順子氏（フォトジャーナリスト、Picture This Japan 代表）

参加人数：のべ37名（オンライン参加者含む）

場所：ひらつか市民活動センター

・～Towards an Inclusive society～

「みんなで支え合える優しい地域づくりサミット」

テーマ・主旨：誰一人としてこぼれ落ちる事のない社会を子ども等に残すために、そして、あなた自身が生きるために地域の大人等が出来る事を大学生と一緒に、真剣に話し合ってみよう。

日時：2020年11月7日（土）

場所：平塚市八幡山の洋館

参加人数：27名（オンライン参加者含む）

## ② 地域イベントへの出店参加、作品の展示販売

・場所：横浜市都筑区

中川まちなかマルシェ出店（約200名来場）

日時：2020年8月29日（土）

・場所：平塚市見附町

ひらつか市民活動センター祭り

日時：2020年11月18日（土）

## 2 自立支援（就労支援）事業

・新型コロナ感染症対策、緊急事態宣言により中止

## 3 神奈川自助グループ助け合い事業（マッスル会）

・新型コロナ感染症対策、緊急事態宣言により対面式の交流会は中止。

### 【その他の活動】

\*2021年3月9日 平塚市教育会館にて平塚市保健内部研修講師として、代表理事（赤松未来）が登壇。

\*2020年12月 赤い羽根中央共同募金「居場所を失った方への緊急助成金」に応募し、採択される。